

山口左七郎様

用書

拜呈陳未日増々向暑之候と成之敷
 所等も寂々と清浄宗之旺衰相違して
 神々わねる一日等々、お病々、汚穢神
 とて度々依て汚地を恒中お種と面
 情さ成有く汚穢申す、且右地に
 移轉後漸々生語添ふ、何と云ふ口
 著朱に宛所出面に頼り、亦自見は
 家今圃伊勢原石倉弓道院開設し
 付牛小舎と地所く然り消地にお成り
 趣き前知れ、且つ該地代下附成
 お礼上い角、小生貴家よりお借成居
 し金更北兩邊のちとせ共當る小生
 と致すわ不召也等々、
 主様馬五斗・七斗各乾
 早小生貴家左側の上河方へ申し申
 儀、
 儀、
 公同、北海道、
 平成、所用、
 建、
 中、
 先、
 山、

